徹底した教育へのこだわり。

日本の総人口に占める19歳以下の人口は現在約18%。少子高齢化の影響で子どもの数は減っている一方、世帯年収に占める教育費の割合は年々増えているという。それにともない学習塾も増加しており、大手進学塾から個人塾まで百花繚乱の状態である。このような状況のなか、個別指導でとことん教えることを指導スタイルに掲げ、評価を高めている学習塾が「ブライトフューチャーアカデミー」だ。教育に対する熱い想いを持つ代表・冨沢拓夫氏の実像に迫った。

理念が合った二人が開塾。

教育費増加の恩恵を受けている業界として「学習塾」が挙げられる。今や、中学生までに学習塾へ通っていない生徒は少数派となっており、事業所数だけみれば全国の小中高の学校数よりも学習塾のほうが遥かに多い状況だ。そして、その学習塾には全国展開している大手進学塾から1名で運営しているような個人塾まで、その規模や指導方法は千差万別だ。

このような学習塾の状況のなか、独自の指導スタイルを持つ個別指導専門学習塾として2008年4月に開塾した「ブライトフューチャーアカデミー」。同塾を運営するのは、代表の冨沢拓夫氏（以下、冨沢氏）と塾長の秋元一人氏の二人。両名は大手学習塾の講師として出会い、理想とする指導スタイルが一致していることで、共同経営者として開塾へと至ったのである。

ブライトフューチャーアカデミーの指導スタイル。それは「とことん教える」ことで生徒の実力を引き出していくことにある。通常、塾には授業コースや受講するコマとそれに対する料金が決められており、もしそれ以外の補習を受ける場合には追加の授業料が必要となる。ブライトフューチャーアカデミーにももちろん、授業コースや受講するコマ、料金表などは存在するが、講師が必要と判断した場合や、生徒や保護者から希望があった場合などに補習を行っても追加料金は発生しない。「シンプルに規定料金内だけですべて指導するのが当塾のポリシーです」と冨沢氏。

また、指導効果を高めるために、1対1あるいは1対2の個別指導を行っている。講師1人に対し生徒2人までのため、一人ひとりの実力に応じて、各人に合ったペースで指導することが可能となっている。これらはすべて「とことん教える」という指導スタイルに基づいたもの。「この考え方は秋元と私だけでなく他の講師についても同様です。採用時には当塾のスタイルをしっかり伝え、それに賛同していただける方のみを採用しています。今ではいずれの講師も私たちと同じ思いで動いており、こちらがなにも言わなくても自ら積極的に補習を行ってくれています」（冨沢氏）。

将来も教育理念は曲げない。

生徒にやる気があれば、予習して授業に臨み授業が終わったら復習をすることで成績は上がっていくだろう。しかしそれはあくまで理想であり、部活動などにも忙しい生徒もいるし、モチベーションがそんなに続かないと言うこともあるだろう。そこで同塾では試験が行われる前などに集中的に補習を行っている。もちろん、前述の通り追加料金はナシだ。開塾当初、この方法で集中指導を試みたところ、成績がアップした生徒が続出。そこからブライトフューチャーアカデミーの評判が口コミで広がり生徒も集まってきたという。

現在では冨沢氏、秋元氏ともに空いているコマがほとんどないくらい生徒を抱え、数多くの合格実績を持つまでとなったブライトフューチャーアカデミー。ただし、塾の大規模化やフランチャイズ化はまったく考えていない。今後も「とことん教える」という信念を貫き、「入塾してくれた生徒さんを全力で教えていく」と冨沢氏は話す。ただ、近い将来には少人数制指導を提供することは考えているという。それでも講師の目が完全に行き届く範囲内であり、生徒のペースに合わせて指導していくというスタイルは変わらない。

「自分が学生の頃に考えた『こんな塾があれば』という理想を具現化したのがBFAです」という冨沢氏は今、着実にその想いを実現しようとしている。

Bright Future Academy

ブライトフューチャーアカデミー

COMPANY DATA | 所在地：東京都大田区西馬込2-30-13 高橋ビル2F　TEL：03-6802-4111　http://b-fa.net/〔個別指導専門学習塾の運営〕

CEO Interview

天職に巡り会えた。

理想の指導スタイルを

――どのような学科を教えられているのですか。

私自身は文系科目を教えています。英語指導を得意としているのですが、大手学習塾の講師として文系科目全般を指導していくうちに、徐々に教え方を習得していきました。塾講師として「自分が学んできたことをどう教えたら生徒により良く伝わるのだろうか」ということを考え続け、その方法を高めていきました。

塾を第二の学校へ

――学習塾も過当競争の時代だと思いますが、どのように生徒を集めたのですか。

ほとんどが紹介と口コミだけで集まってきた生徒さんですね。最初はもちろん、入塾する生徒さんは数少なかったのですが、私たちの指導ポリシーである「とことん教えていく」ことで成績をアップさせ、徐々に評判や口コミを高めていくことで生徒さんがさらに集まるようになりました。現在ではHPを見て新規入塾する生徒さんもいますが、その生徒さんや保護者の方からの紹介で、さらに新規入塾する生徒さんも増えるというパターンも出てきています。

――個別指導となると生徒一人ひとりに適した指導ができますね。

そのとおりです。当塾では、生徒さんが入塾したら、日常会話からどんなタイプなのかなどを見極めて生徒さんの性格を探ります。そうして生徒さんのことをよく理解した上で、最適な個別指導法を採っているのです。授業の時間や曜日もできる限り生徒さんの希望に合わせていますし、時間が許す限り補習も行っています。受講している科目でなくても、どうしてもわからないことがあれば教えています。これらは補習と同様、追加料金はいただいていません。

――開塾から7年目を迎えた今、どんな思いで指導を行っていますか。

ここまで学習塾をやってきて実感しているのは「生徒さんのことを思って教えていれば、生徒さんの側でもなにかを感じとってくれる」ということ。私自身、子供がおりますので、そのことを考えたらいい加減な教育はできません。自分の子供に教えるのと同じ思いで日々指導をしています。生徒数が「増えた」「減った」ということも大事ですが、何より教えていて生徒さんの成長を見ていくのが一番うれしいですね。今の仕事は、天職に巡り会えたと思っています。

――冨沢さん、そしてブライトフューチャーアカデミーの教育への情熱を感じます。

生徒さんたちが持つ「勉強をしたい」「成績を上げたい」という想いやニーズにことん応える塾でありたいと常に考えています。授業の前や後のちょっとした時間でも、私たちの手さえ空いていればいつでも教えていますので。また塾に通っている生徒さんであれば、空いている机をいつでも使って構いませんので、自習室として使う生徒さんも多いですよ。

――もうひとつの学校といったイメージがありますね。

そうですね。実際、「塾に来るとホッとする」と言ってくれる生徒さんもいますし、私たちも「いつでも帰ってこられるスペース」にしたいと思っているんですよ。目指しているのは、社会人になってから戻れる場所。例えば、元塾生が二十歳を超えたら一緒に酒を酌み交わしたいですし、何歳になっても交流できるような間柄でいられたらうれしい。それが教育者の醍醐味でありますし、教師冥利に尽きるのではないでしょうか。

TAKUO TOMIZAWA
冨沢 拓夫

ブライトフューチャーアカデミー代表
1981年6月生まれ。英国国立ノッティンガムトレント大学大学院 英語教育修士課程修了。秋元一人氏と共に「講師1人に生徒1～2人」の個別指導専門学習塾「ブライトフューチャーアカデミー」を開校。中学校・高等学校・専門学校での指導を経て、現在では塾での指導の他に大学でも教鞭を執る。